

受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書

記入例

① 受講者名簿							②建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳（裏面(4)参照）				③-1受講証明 ※受講者全員分を記載すること。（裏面(5)参照）						
No.	受講者氏名	35歳未満 ※1	CCUS ※2	雇用保険 被保険者番号	雇用 保険料率 (1000分の)	下請名簿番号	受講 日数 (日)	助成対象 日数 (日)	申請額 (助成対象日数×助成 日額単価) (円)	※算定額（円） 労働局記載欄	実施日 (例:2025/1/1)	実施時刻 上段：開始時刻 下段：終了時刻	学科 時間	実技 時間			
1	富山 県			1111-222222-3	17.5		3	3	25,650			:					
2												:					
3												:					
4	立山 たかし			4444-555555-6			3	3	25,650			:					
5	注意 1 「③-1受講証明」は、受講した日にち1日分を1行で証明します。 この様式では「No（行数）」が10までしかないので、記入する行が不足する場合があります。その場合は、2枚に分けて作成をお願いします。 例えば、3日間の講習を3名受講した場合は、9行使用するため、1枚に証明することが可能ですが、3日間の講習を4名受講される場合は、12行使用するため、行数が不足します。この場合は、4人目はこの用紙（様式）を分けて作成することとなります。 注意 2 様式は、受講された年月日の属する年度（4月～翌年3月末）によって、使用する様式が異なります。受講された年度の様式をご使用ください。										講習機関 記入箇所						
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
							合 計	6	6	51,300							
所属する建設事業主団体が技能実習を実施した場合又は登録教習機関等に委託して技能実習を実施した場合は③-1及び③-2を訓練実施機関が記入し証明してください。その際、裏面の2の（5）のロの（ii）について、確認してください。 事業主自ら技能実習を実施した場合は事業主が③-1を記入してください。③-2の記入は必要ありません。							③-2 受講証明 富山 労働局長 ※管轄する労働局名を記載してください。 上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること及びカリキュラム全体の時間数の7割以上の時間を受講したことを証明します。 また、裏面の2の（5）のロの（ii）について、同意します。 証明年月日 年 月 日 実施機関名 代表者氏名 連絡先電話番号 講習機関の証明欄							※備考 実施した講習機関が記入し、証明します。			

(注) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照してください。